

アロハ

トライアスロン!



ボランティアがおそろいで着るTシャツはスポンサー提供で、大会のロゴが入っていてカッコイイし、もちろんそのままもらえるから、ふだんも着られるよ。当日は「ボランティアの人も脱水症には注意してください」と、軽食やドリンクなどがサービスされる。

ボランティアでキミも主役!

ルッキン
グッドー!
"Looking goodoodi!"

これ、どういう意味かわかる? きちんと文法的に正しく書くや、"You are looking good."
「あなたは調子が良さそう(順調そう)に見える」って訳せるけど、スポーツの場面ではグッドを長くのばして、声はふだんより高めで言うのがコツ。正解は、**選手を応援することばで、「いい調子!」って感じかな。**走っているときにこのことばで応援されると、とっても元気が出るよ。ホントに疲れているときに「がんばれ!」って応援されると、「もうがんばってるよお」って思うことがあるんだけど、looking goodは、「わたしってイケてるのかも?」なんて選手に思わせるチカラがある。"Good job!"(よくやった!)とか"Way to go!"(行け、行け!)というのもよく聞かれる応援のことば。
海外のレースに参加していちばん感じるのは、**応援する人やボランティアが選手と同じかそれ以上に楽しんでるってコト。**
天気がよければ、いすやラジカセ、パーベキユーセットなんかを持ち出して、食べたり踊ったりしながら応援するのはあたりまえ。一日中、



アイアンマンレースの週には、ほかにもさまざまなイベントが行われて町全体が盛り上がる。大人は5km、子どもは1kmを走るチャリティ・ラン(カナダ)は、だれでも参加できて、本物のアイアンマンのフィニッシュ・ゲートにゴールできるのがお楽しみ。参加費5カナダドル(約420円)は、地元のChild Development Centre(生まれつきの病気をもつ子どもの医療・リハビリを行う施設)に寄付される。

Lookin' Good!



「Good job!」と声がかかるまで叫んだり、選手をサポートしたりでレースをするよりハードかも!?

トライアスロンには**ボランティアのチカラ**が必須。受付、会場設営、エイドステーションやトランジット(着替え)でのサポートなど仕事はさまざまだけど、レースを陰で支える裏方というよりは、**選手とともにもう一人の主役**っていう感じだよ。アイアンマンレースの

ボランティアは大人気で、インターネットで申し込めるから世界中の人が応募する。家族や友人が選手として参加するから自分はボランティアで参加するという人も多いよ。インターネットを使う人は、**試しにサイトをのぞいてみてね**。

自分がやりたい時間帯、仕事、Tシャツのサイズなどが選べるよ。わたしもハワイでボランティアをしたけど、はじめての人でも機能的に活動できるようにマニュアルが用意されているから安心。それに、ゴールした選手にタオルをかける役割のときには、次々ゴールする選手にそなえてボランティアも二人一組で列になって待たかまえているんだけど、家族がゴールするときにはちゃんと前に出してもらえて、自分でタオルをかけてあげたらそのままサポートして**持ち場をはなれてもしかられたりしない**。

みんな、**家族とゴールを喜び合いたいって気持ちはいっしょ**なんだね。

正式なボランティア登録には年齢制限(16歳以上など)があるけれど、地元の子どものための活躍の場面だつてももちろんあるよ。たとえば走り抜ける選手に「スプラッシュ?」(水、かける?)とときいて、OKをもらったら、大歓声とコップの水を浴びせかける。**どうどうとおとなに水をかけていいなんて最高!**

さて、レース翌日の晩に行われる表彰式。ブ口の部門では男女の優勝者が、それぞれ個性で感動的なスピーチをするものだけど、だれもが必ず述べるコトがあるよ。それは、**スポンサーとボランティアと家族への感謝のこと**。どんな有名な世界のトップ選手でも、**自分一人のチカラで勝ったのではないってコトを知っている**んだね。

それじゃあ
また来月まで、
アロハ!

